



つなぐ・広がる 緑のリレープロジェクト



# 森の教室

どんぐりくんと森の仲間たち

## 「森の教室」開催について



「森の教室」は、ファミリーマートの店頭募金「夢の掛け橋募金」を活用して2012年6月から開催されています。



「夢の掛け橋募金」募金箱



「森の教室」は、基本、国土緑化推進機構と都道府県緑化推進委員会との併催事業として開催されます。ただし、これまでも都道府県緑化推進委員会からの希望により、県ならびに市町村も主催として開催されたことがあります。

例：全国植樹祭記念事業として愛知県で開催した時には、主催を国土緑化推進機構と尾張旭市にて実施。



開催の際には、同都道府県内で最低2か所、連日開催を予定します。  
県内でのスタッフ移動は車移動を基本とし、1か所開催後に翌日開催する最寄地まで移動→宿泊→開催となります。  
スタッフ等の移動、宿泊は運営事務局で手配、準備します。



なお、開催当日はファミリーマート関係者の参加も予定され、参加の際には「ファミリーマートからの応援メッセージ」等のプログラムも実施されます。

## 「森の教室」開催までの流れ

開催候補の選定 【都道府県緑化推進委員会】



国土緑化推進機構へ打診（予定数ならびに希望開催日時） 【都道府県緑化推進委員会】



年間の開催予定数から開催する件数を決定して、開催候補日を運営事務局から戻します。

候補日をふまえた幼稚園、保育園との調整並びに日程決定ならびに国土緑化推進機構への決定幼稚園、保育園の連絡先並びに担当先生の情報提供 【都道府県緑化推進委員会】



幼稚園、保育園へ実施に向けて具体的な連絡、確認 【運営事務局】



配布物（広報チラシ・園児配布チラシ）の作成と確認 【運営事務局】



- 広報チラシは、都道府県緑化推進委員会へ確認
- 園児配布チラシは、幼稚園、保育園の担当先生へ確認

開催 10 日前に都道府県緑化推進委員会へ広報チラシを送付（100～200 部） 【運営事務局】

開催 1 週間前に幼稚園・保育園へ開催チラシを送付（園児全員数） 【運営事務局】



「森の教室」開催

## 都道府県緑化推進委員会に お願いしたいこと



- 開催する幼稚園または保育園等の団体及び日程の決定をお願いします。  
※地域の保育園、幼稚園を数園まとめたの1カ所（公民館などの公共施設）で合同開催することも可能ですが、その際の施設の手配をお願いします。



- 県、市町村ならびにメディア関係への広報活動と当日のご対応をお願いします。  
※広報用チラシは運営事務局から都道府県緑化推進委員会宛に送付いたします。  
※当日のメディア対応は主催者として予定ください。「森の教室」の実績等の資料並びに情報は、運営事務局の者が準備、対応させていただきます。



- 開催当日の主催者としての立ち合いならびに挨拶を予定ください。  
※基本開催時間：10時から11時30分（立会時間9時30分から11時30分）



- 子どもたちが持つ「どんぐり」の手配ならびに2年間（苗木の状態による）育てた苗木の植栽先を予定ください。

例： 広報用チラシ（A4版両面印刷） 島根県版



## 「森の教室」プログラム



- 開会
- 主催者あいさつ
- 「森の教室」 応援団の紹介
- どんぐりくんと森の仲間たちショー
- 森の体操
- ファミリーマートからの応援メッセージ
- 記念撮影
- どんぐりのお話し&どんぐり蒔き
- 記念品の贈呈
- プロジェクト参加宣言
- 閉会

屋内にて実施

屋外にて実施  
※天候ならび  
気温等にて  
当日決定

- 園へ贈呈する参加記念品（「森の教室」の体操 DVD と体操用音楽 CD セット）



- 園児全員へプレゼントする記念品（「森の教室」キャラクターふぁみたんのぬり絵はがき 5 枚セット）



## 都道府県緑化推進委員会の 情報を入れて制作

### ■広報チラシ（A4 版両面印刷）

都道府県緑化推進委員会から  
情報や写真、ならびにデータを  
提供いただき、運営事務局で  
制作します。



### ■園児配布チラシ（A4 両面印刷 2 つ折り※仕上がり A5 版）

広報チラシ同様に都道府県緑化推進委員会の情報を掲載します。



A5 版 裏表紙

A5 版 表紙



見開き中面



## 「森の教室」が紹介された 新聞記事

地方紙ならびにケーブルテレビ等を中心に、多くのメディアで紹介されることが増えてきています。特に、全国植樹祭・全国育樹祭開催記念行事として「森の教室」を実施する時には、多くのメディアの紹介があります。

●全国植樹祭開催記念行事として富山県で行った際の取材模様 2017/5/18 ほんごうこども園



●島根日日新聞 2019/6/7

森づくりのキャラクターショーで子どもたちも一緒に「森の体操」をした=5日、みなみかも保育園

子どもたちに森林への関心を持ってもら  
や樹木への興味、環境  
おと5日、雲南市加

### 園児たち、ドングリをまく みなみかも保育園で「森の教室」

雲南

雲南のみなみかも保育園（雲南加茂子園長、園児54人）で、「森の教室」が開かれ、同保育園の3、4歳児と町内の大東保育園の4歳児合わせて約35人が、森づくりのキャラクターショーを楽しみ、「ドングリの種まき」をした。園土緑化推進機構（東京都）と島根県緑化推進委員会（松江市、松尾秀孝委員長）が主催した。森の教室は2012年から全国の幼稚園・保育園で開かれている。

教室では、同保育園を運営する多新福祉会（同町）の日根広久理事長（87）が「森についてしっかり勉強しましょう」とあいさつ。キャラクターショーで、同機構の「森の教室」で、子どもと森の仲間たち、の仲間たち」のキャラクター（6人）が登場。司会進行役の「森のお姉さん」が緑の募金キャラクター「どんぐりくん」の着ぐるみなどと一緒に、クイズを交えて森の役割を分かりやすく子どもたちに伝えた。

「ドングリの種まき」では、県が認定している森林インストラクターの竹田正彦さん（61）＝松江市＝が植え方を説明し、子どもたちが土の入ったポットにクヌギのドングリを横向きに2個置き、ていねいに土をかけていた。

4歳児たちは、「どんぐりくんがかわいかった」「楽しかった」などと話し、森について勉強した点について「雨が降って土が崩れるけど根が支える」と話していた。